

花や木で健やかな三重をつくる条例

策定調査特別委員会

説明資料

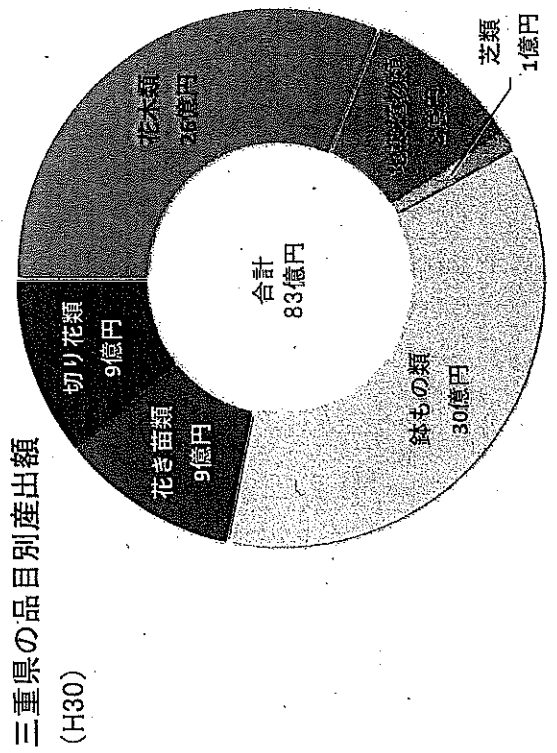
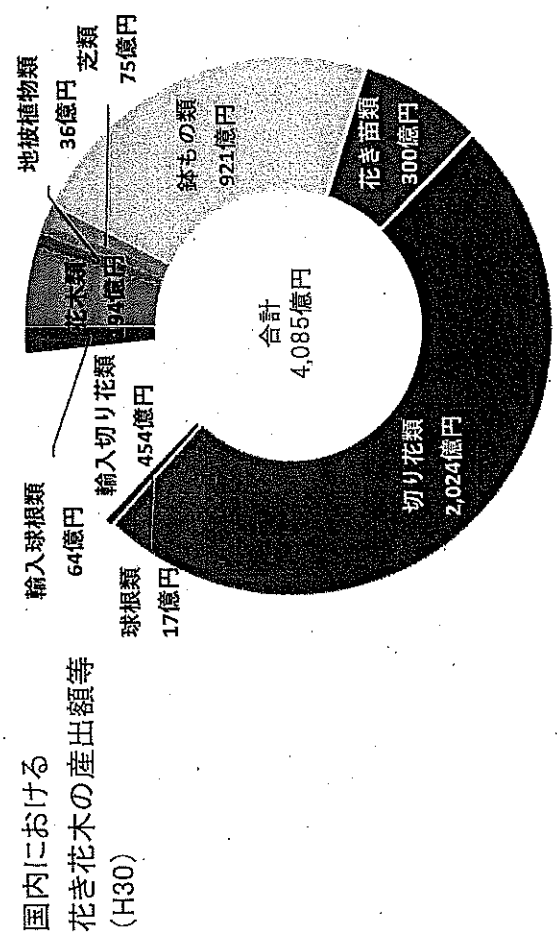
1. 三重県における花き花木の生産状況	1
2. 三重県で栽培されている主な花き花木	2
3. 花き花木振興に関わる団体	3
4. 県内で行われている花き花木振興に係る主な取組	4

令和3年6月

農林水産部

1. 三重県における花き花木の生産状況

品目	主な種類	主な産地	作付面積	出荷数量	出荷先	その他
花木類	サツキ、ツツジ、コニフア類	鈴鹿市、津市、亀山市	642ha (H30)	10,438千本 (H30)	生産者と卸売業者による相対取引が中心、一部で花き市場経由の取引が始まっている	県内花木類の作付面積で5割を占めるサツキ、ツツジは、作付面積、出荷数量、出荷額で全国第1位
地被植物類・芝類	タマリユウ、コウライシバ	鈴鹿市、津市、亀山市	42ha (H30)	—	生産者と卸売業者による相対取引が中心	県内地被植物類の作付面積で6割を占めるジャノヒゲ類は、作付面積、出荷額で全国第1位
鉢もの類 (鉢花、観葉植物)	シクラメン、シンビジウム、ヘデラ、ポトス	四日市市、桑名市、鈴鹿市	28ha (R1)	5,020千鉢 (R1)	生産者個人による花き市場への出荷が中心	
花き苗類	ガーデンシクラメン、パンジー、ビオラ、マリーゴールド	県内全域	34ha (R1)	17,900千鉢 (R1)	生産者個人による花き市場への出荷が中心、ホームセンター等実需者への契約出荷	
切り花類	バラ、ガーベラ、ストック	伊勢市、松阪市	73ha (R1)	13,900千本 (R1)	農協の共同集荷による花き市場への出荷が中心	



出典：農林水産省「花きの現状について」より
 (資料：農林水産省「生産農業所得統計」、「花木等生産状況調査」、財務省「貿易統計」)

出典：農林水産省「花木等生産状況調査」、「生産農業所得統計」

2. 三重県で栽培されている主な花き花木

鉢もの類(鉢花・観葉植物)

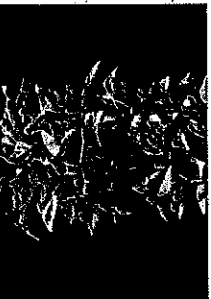
- ・県内全域で多様な品目が栽培され、鉢もの類では全国第10位、そのうち観葉植物では全国第4位の出荷量を誇ります。
- ・定番品のシクラメンや洋ラン、多肉植物や観葉植物など様々な生産者オリジナル商品が生産されています。



シクラメン



シンビジウム



ポトス

花き苗類

- ・ガーデンシクラメン、パンジーなどを中心に、県内全域で多種多様な品目が栽培され、全国第9位の出荷量を誇ります。
- ・個人経営体による市場出荷が中心ですが、近年はホームセンター等の実需者と契約し、直接出荷する事例も増えています。



ガーデンシクラメン



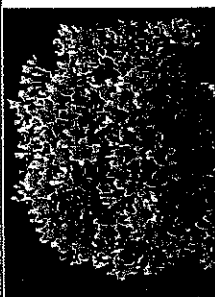
ピオラ



マリーゴールド

花木・地被植物・芝

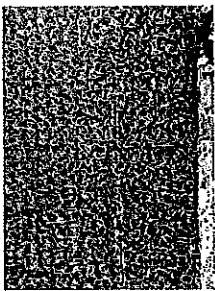
- ・鈴鹿、津地域を中心に栽培され、サツキ・ツツジ類等の花木類では、全国第2位の出荷量を誇ります。
- ・出荷・流通が容易な「コンテナ(容器)栽培」が普及しています。



サツキ



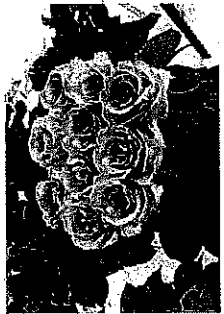
コニファー類



タマリユウ

切り花類

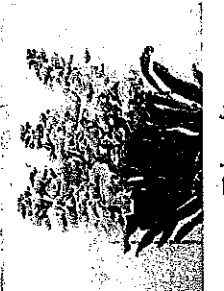
- ・伊勢志摩地域では、温暖な気候を生かしてバラ、ガーベラ、トルコギキョウ、カーネーション、キクの生産が盛んで、県内を代表する切り花産地となっています。
- ・松阪地域では、古くからストックの栽培が行われています。



バラ



ガーベラ



ストック

3. 花き花木振興に関わる団体

花の国づくり三重県協議会 (平成4年設立)

【目的】

花と緑を生活に生かした豊かな社会の実現と花と緑の産業振興を図る。

【構成員】

○本会員 (10者)

三重県花植木振興会、三重県花商組合連合会、
(公社) 日本フラワーデザイナー協会三重県支部、三重県インドアグリーン協会、
日本ハンギングバスケット協会三重県支部、三重県園芸福祉ネットワーク、
(一社) JFTD58 花キューピット三重支部、(株) 伊勢生花地方卸売市場、
三重県農業協同組合中央会、全国農業協同組合連合会三重県本部

○特別会員 (7者)

三重県ボランティア連絡協議会、(公社) 三重県観光連盟、
三重テレビ放送(株)、(株) 伊勢新聞社、三重県市長会、三重県町村会、
三重県(教育委員会事務局、県土整備部、農林水産部、農業研究所、林業研究所)

【活動内容等】

花フェスタ(消費拡大イベント)開催、花育推進事業、飾花活動、実証ほ設置など

三重県花植木振興会 (昭和47年設立)

【目的】

花植木に係る生産技術の課題解決と産地のPRを図る。

【構成員】

○花き部会

桑名市温室園芸組合(10名)、四日市温室園芸組合(10名)、
鈴鹿花き温室組合(7名)、みえなか農業協同組合(5名)、個人会員(10名)

○植木部会

鈴鹿植木組合(29名)、緑遊会(1名)、鈴鹿農業協同組合

【活動内容等】

○花き部会：品評会、即売会、生産者大会、関東東海花の展覧会、研修会など

○植木部会：品評会、植木まつり(即売会)、研修会、農業研究所との共同研究など
加盟する東海地域花き普及・振興協議会や花の国づくり三重県協議会等が実施するイベント等へ参画する。

4. 県内で行われている花き花木振興に係る主な取組

花フェスタ

【目的】

花や緑に触れる豊かな暮らしを提案するとともに、県産花き花木の消費拡大を図る。

【主催】

花の国づくり三重県協議会

【内容等】

県産花きを使用した飾花展示、フラワーアレンジメントや寄せ植え体験を実施している。

また、三重県花植木振興会主催の花き品評会・即売会を合わせて開催している。

○令和元年度

会場 : メッセウイング・みえ

開催日 : 12月7日、8日

来場者数 : 約5,500名

○令和2年度 開催中止



飾花展示

花育

【目的】

花や緑に触れる機会を提供し、児童生徒の愛情や美しさを感じる気持ちを育成する。

また、家庭内での花や緑への関心を高め、県産花きの消費拡大につなげる。

【主催】

花の国づくり三重県協議会

【内容等】

小中学校等を訪問し、フラワーアレンジメントや寄せ植え体験を実施している。

○小中学校等における花育体験推進

令和元年度 12校、622名

令和2年度 21校、1,171名

○大人の花育推進

令和2年度 12団体、640名



生産者が講師となった

フラワーアレンジメント教室

フラワー・プラボー・コンクール（FBC）

【目的】

植物の栽培をとおして、学校環境の美化と児童生徒の豊かな情操教育に努めるとともに、育てた苗を公共施設や児童生徒の家庭などに提供し、地域社会の快適な環境づくりを推進する。

【主催】

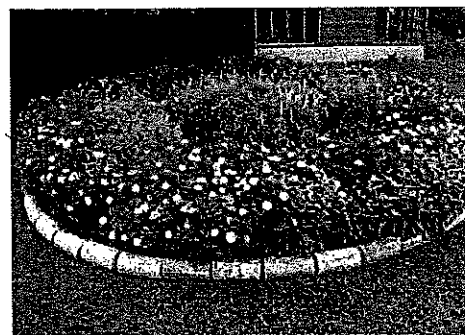
FBC実行委員会（愛知県、岐阜県、三重県、福井県、静岡県、滋賀県、長野県、名古屋市、愛知県教育委員会、岐阜県教育委員会、三重県教育委員会、福井県教育委員会、静岡県教育委員会、滋賀県教育委員会、長野県教育委員会、名古屋市教育委員会、中日新聞社）

【内容等】

三重・愛知・岐阜・福井・滋賀・静岡・長野の各県の小中学校等が参加する、学校花壇のコンクール。

参加校に、7種類の花の種子を無償で配付し、その種から育てた花の生育状況と児童生徒が考えた花壇のデザイン性を審査する。

- 昭和40年度参加校 107校（初年度）
- 昭和62年度参加校 154校（参加校数最大時）
- 令和元年度参加校 61校
- 令和2年度参加校 60校
- 令和3年度参加校 54校



学校花壇

植木まつり

【目的】

一般消費者と花木生産者との交流を促進し、花木類の消費拡大を図る。

【主催】

鈴鹿市（春）、三重県花植木振興会（秋）

【内容等】

生産者による即売会や寄せ植えづくり体験、花木の育て方教室などを実施している。

- 平成31年度・令和元年度
- 会場：鈴鹿フラワーパーク
- 開催日：（春）4月13日～21日
- （秋）10月19日、20日
- 来場者数：（春）約18,100名
- （秋）約3,500名
- 令和2年度 開催中止



植木の競り